

2. 正しく知ろう HIVとエイズ

HIVとエイズは違います

HIVとは

HIVは、英語の「Human Immunodeficiency Virus」の頭文字をとったもので、ヒト免疫不全ウイルスのことです。

エイズとは

エイズ = AIDSは英語の「Acquired Immunodeficiency Syndrome」の頭文字をとったものです。日本語にすると「後天性免疫不全症候群」で、

- 生まれた後にかかる、
 - 免疫の働きが低下することにより生じる、
 - いろいろな症状の集まり
- という意味になります。

エイズはHIVに感染することによって発症します。



HIV感染からエイズ発症まで

HIVに感染しても、すぐにエイズになるわけではありません。HIVに感染してからエイズを発症するまで5年から10年ほどかかります。

HIVに感染すると、免疫の仕組みの中心である白血球の一種、「ヘルパーTリンパ球(CD4陽性細胞)」が壊され、体を病

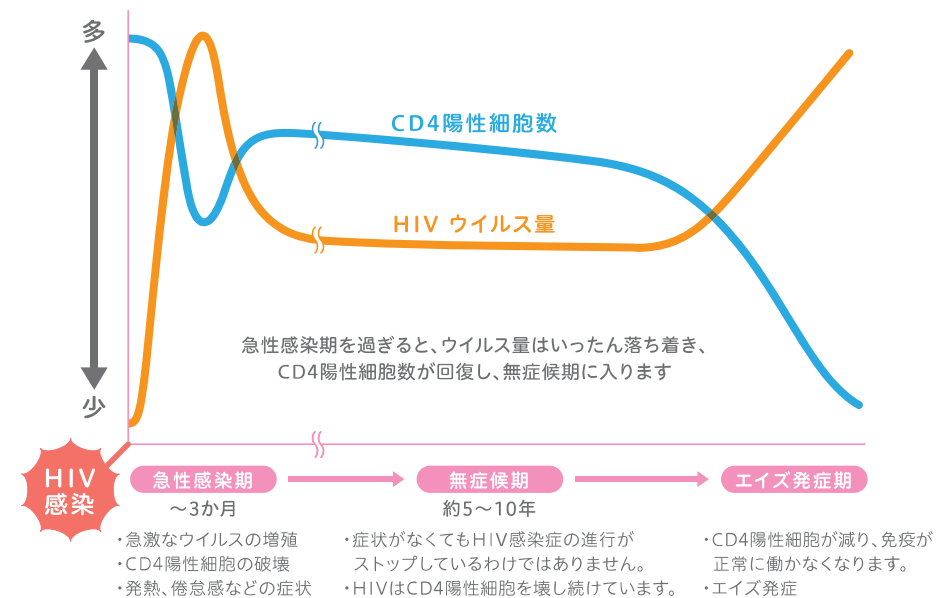
気から守っている免疫力が低下します。

感染から数週間以内に風邪に似た症状が出ることはありますが、自然に治まります。この症状からはHIV感染の有無は判断できません。

その後、自覚症状がないまま数年が経過しますが、その間に免疫力は徐々

に低下していきます。やがて免疫不全の状態になり、「日和見感染症」とよばれる本来なら自分の力で抑えることのできる病気にかかるようになります。カンジダ症やニューモシスチス肺炎など

の日和見感染症に、悪性リンパ腫やカポジ肉腫などを加えた23の疾患が指標として定められており、HIV感染者はこれらの疾患を発症した時点で「エイズ発症」と診断されます。



治療薬・治療法は進化しています

HIV感染症の治療薬・治療法は飛躍的に進歩し、現在では1日1錠の服薬ですむ薬が主に使用されています。早期に感染を知り、治療を始め、継続することにより、エイ

ズの発症を防いで、感染していない人と同じくらい長く、健康的な社会生活を送ることができるようになってきました。